

環境活動レポート



刈鋌工業 株式会社

実施期間 2016年1月～2016年12月

作成日 2017年2月

〒473-0917

愛知県豊田市若林西町広崎35番地

TEL : (0565) 52-3824

FAX : (0565) 52-3839

URL: <http://kariban.co.jp/>

目次

1 組織の概要	3 ページ
2 対象範囲	4 ページ
3 環境方針	5 ページ
4 環境目標	6 ページ
5 環境活動計画	7 ページ
6 環境目標の実績 環境活動取組(写真)	8 ページ
7 環境活動計画の取組結果と その計画、次年度の取組内容	13 ページ
8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	14 ページ
9 代表者による全体評価と見直しの結果	15 ページ

1. 組織の概要

・事業者名	刈鋌工業株式会社
・代表者	代表取締役 江原 功一
・所在地	愛知県豊田市若林西町広崎35番地
・法人設立	1949年6月
・敷地面積	10,450平方メートル
・延床面積	10,770平方メートル
・資本金	4,700万円
・従業員数(2016年1月現在)	役員 4人 従業員 112人 派遣社員 44人
・売上高	2016年3月 38億7400万円 2015年3月 35億8600万円 2014年3月 37億6600万円
・環境管理責任者	取締役副社長 江原 圭亮
・担当者連絡先	環境活動事務局 江原 悠司(0565-52-3824)

2. 事業内容

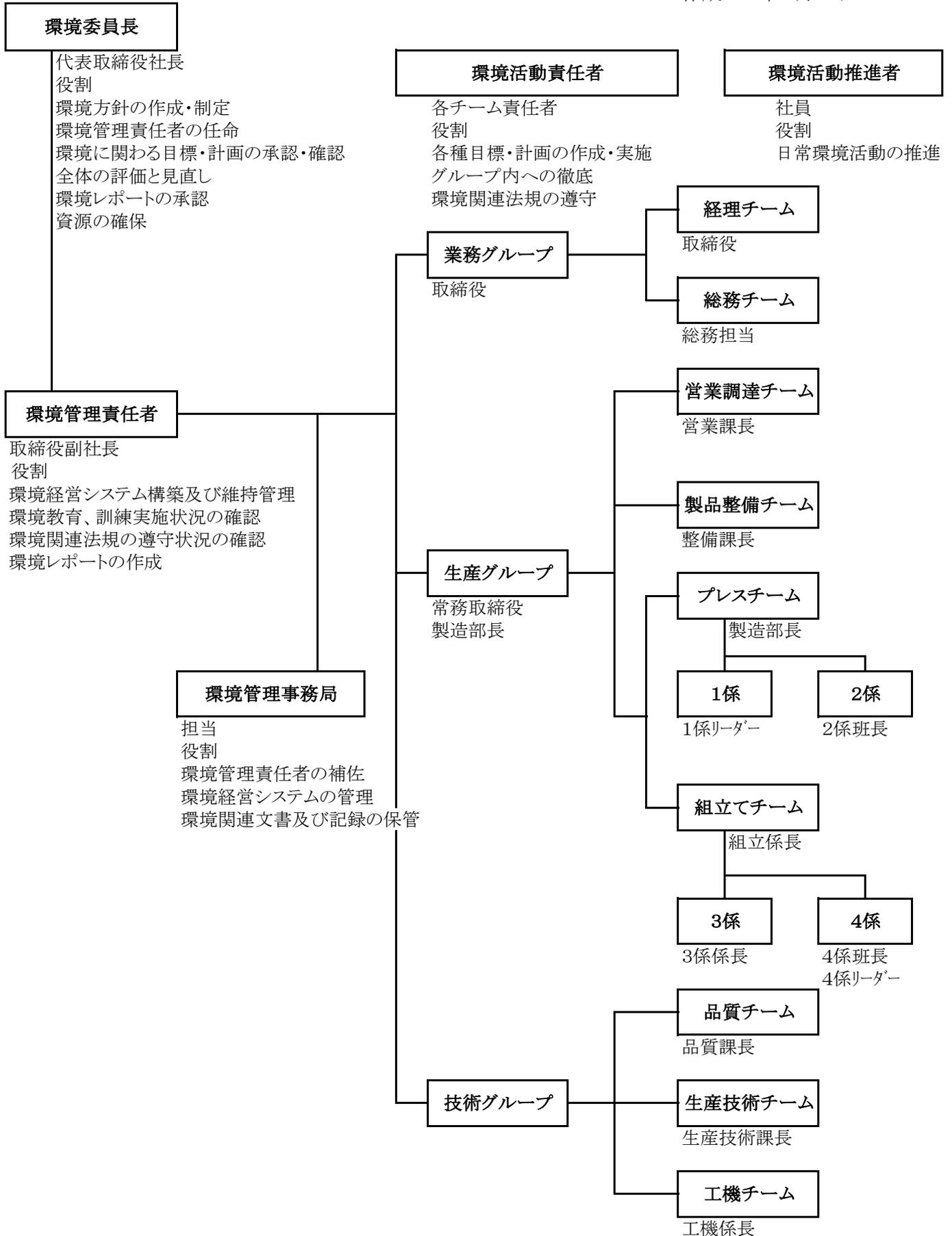
- ・自動車部品製造(車体系機能部品)
- ・プレス、溶接、組立加工
- ・プレス金型、治工具の製造

3. 主要取引先

- ・アイシン精機株式会社

2. 対象範囲

刈鉾工業株式会社
作成：'16年 1月20日



従業員数

正社員106名 パート10名 派遣44名 合計160名

環境方針

環境理念

当社は、自動車部品のプレス・組付製造を主とする企業として、環境にやさしい取り組みを行い、美しく豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐ為、全社一丸となって、環境保全活動を積極的に推進する。

活動方針

1. 当社の環境理念に基づき、環境マネジメントシステム(EMS)を構築し、計画的な実施と見直しにより継続的改善を行う。
2. 当社に適用される法規制、その他要求事項を遵守し、もしくは自主規制を設け環境汚染の予防活動に努める。
3. 次に掲げる事項において活動計画を定め、実行する。
 - ①省エネルギー活動を推進し、CO2排出量を削減する。
 - ②産業廃棄物の削減とリサイクル活動の積極推進。
 - ③グリーン購入の推進。
 - ④化学物質使用量の削減。
 - ⑤不良品を削減し、品質目標を向上させる。
 - ⑥環境教育・啓蒙活動を行い、社員が環境を大切にする企業を目指す。
 - ⑦地域とコミュニケーションを図り、地域の範となる環境保全活動を行う。

この環境方針は社内へ周知すると共に広く一般にも公開する。

平成23年2月10日 策定

平成27年6月 1日 改定

刈鋌工業株式会社
環境委員長
代表取締役

江原 功一

4. 環境目標

15年度実績	目標('16年)	目標('17年)	目標('18年)
エネルギー使用量の削減			
CO ² の削減			
二酸化炭素排出 558.6kg/co2	年 550kg/co2 新たな削減案を探す	現状維持の続行	目標値の見直しを行なう
排出物の低減			
一般廃棄物			
燃やすごみ実績 11.17t	燃やすごみ実績 10t	現状維持の続行	目標値の見直しを行なう
再資源化物実績 0.96 t	再資源化物実績 0.95t	低減活動を行なう	低減活動を行なう
産業廃棄物			
再資源化物実績 10.51 t	再資源化物実績 7t	現状維持の続行	目標値の見直しを行なう
再資源化以外実績 1.16 t	再資源化以外実績 1t	低減活動を行なう	低減活動を行なう
鉄スクラップの低減			
15年度実績 5,041.2/年	年 5,000t	品質不良の低減	品質不良の低減
品質不良の低減			
15年実績 クレーム件数 187件	クレーム件数 168件	活動内容の見直しを行なう	活動内容の見直しを行なう
水使用量の削減			
15年実績 4,697m3	年 4,600m3	現状維持の続行	目標値の見直しを行なう
副資材の削減			
化学物質使用量の削減			
PRTR対象物質			
15年度実績 100.6L	年 98L	使用量の管理	使用物質の見直しを行なう
総化学物質			
15年度実績 12,274L	年 1,200L	使用量の管理	目標値の見直しを行なう
購入電力の削減			
15年実績 11,043,622MJ	年 11,000,000MJ	総使用電力量の低減	総使用電力量の低減
15年実績 399kW	最大電力 395kW	最大電力の低減	最大電力の低減
化石燃料使用量の削減			
15年実績 386,913MJ	年 380,000MJ	現状維持の続行	目標値の見直しを行なう
購入資材の削減			
鋼材使用量の削減			
15年実績 8,856.3t	年 8,800t	使用量の管理	目標値の見直しを行なう
部品使用量の削減			
15年実績 298.4百万個	年 290百万個	使用量の管理	目標値の見直しを行なう
紙使用量の削減			
15年度実績 274,000枚	年 270,000枚	使用量の管理	目標値の見直しを行なう
グリーン購入の推進(事務用品)			
15年度実績 88.5%	グリーン購入 90%	グリーン購入90%以上	グリーン購入90%以上

5. 環境活動計画

全社にて取り組む計画と各係において目標を立て実施する計画を立て活動

エネルギー使用量の削減	
空調の温度設定管理	各係毎冷暖房設定温度チェックリスト記入
休憩時間の消灯管理	各係毎休憩時の消灯
工場圧縮空気の漏れ確認・修理	各別活動計画表にて管理
排出物の低減について	
一般廃棄物	ゴミ分別表の配布による分別の周知 分別専用ゴミ箱の設置 廃棄物排出量管理表への記入
産業廃棄物	分別の周知 使い切る努力、再利用の推進
鉄スクラップの低減	不良廃却の低減
品質不良の低減について	朝ミーティング活動 週一会議の実施
水使用量の削減について	節水の周知 漏れの確認を定期的に行なう 使用量の把握
化学物質の使用量の削減	使用量の把握 適正使用量の管理
購入電力の削減	
省エネタイプ設備への移行	設備導入時
デマンド装置の設置	時間ごとの電気使用量の把握
化石燃料の削減について	
ガソリン、軽油使用量の管理	アイドリングストップの周知 エコドライブの推進
灯油使用量の管理	ストーブのつけっぱなしをなくす 灯油使用量管理表への記入
購入資材の削減について	
鋼材使用量の削減	品質活動によるロスの低減
部品使用量の削減	品質活動によるロスの低減
紙資源の再利用の促進について	
コピー紙使用量の削減	メールの利用等、文書の電子化の推進
帳票紙使用量の削減	裏紙使用の周知 使用量の把握
グリーン調達の推進について	新規購入品の確認 一覧表にて確認

6. 環境目標の実績

環境目標	単位	取り組み内容	2015年実績	2016年実績	昨年比	生産比	実施状況の評価
総生産数			10,767万個	10,362万個	96.24%		生産個数は微減
エネルギー使用量の低減 CO2排出量の低減 年 550kg/co2 新たな削減案を探す	kg/co2	空調温度の設定管理 休憩時間の消灯管理 エア漏れ点検	558,602 1万個当 51.88kg-CO2	549,196 1万個当 53.00kg-CO2	98.31%	102.15%	まだ未発見の電力ロスや エア漏れがあると推測される
排出物の低減 一般廃棄物 燃やすごみ実績 10t	t	分別廃棄の徹底	11.17	12.10	108.32%	112.55%	若干の分別不徹底を 感じたため、再度周知 を行ないたい
再資源化物実績 0.95t	t		0.96	0.90	93.75%	97.41%	
産業廃棄物 再資源化物実績 7t	t	分別廃棄の徹底	10.51	3.62	34.44%	35.79%	産業廃棄物の低減には 物を大切にすることが重要 今後もこれを周知したい
再資源化以外実績 1t	t		1.16	0.38	32.76%	34.04%	
鉄スクラップ 年 5,000t	t	不良廃却の低減	5,041.23	4,860.86	96.42%	100.09%	不良件数の減少により 不良廃却も減少した
品質不良の低減 クレーム件数 168件	件数	朝ミーティング活動 週一会議の実施	187	168	89.83%	93.34%	減少傾向にある 活動の継続を促していく
水使用量 年 4,600m ³	m ³	節水活動	4,697	3,327	70.83%	73.60%	細やかな節水と漏水対策 で更なる使用量の低減を したい
化学物質(PRTR)使用量 15年度実績 100.6L	L	使用量の把握・適正管理	100.62	92.88	92.31%	95.92%	新製品立ち上げや、 油脂類の定期交換があり 生産数に比べ増加した と考えられる
総化学物質使用量 15年度実績 12,274L	L	使用量の把握・適正管理	12,274	13,858	112.9%	117.31%	
購入電力の削減 年 11,000,000MJ	MJ	設備導入時	11,043,622	10,904,370	98.74%	102.60%	LED照明の導入により、 節電効果が現れている
最大電力 395kW	kW	時間毎電気使用量の把握	399	393	98.50%	102.35%	ただし、地道な節電が 出来る余地もまだある
化石燃料の削減 年 380,000MJ	MJ	温度管理実施	386,913	347,234	89.74%	93.24%	車両の使用回数に比例 するため、減少した
購入資材の低減 鋼材使用量 年 8,800t	t	品質活動によるロスの低減	8,856.28	8,396.98	94.81%	98.51%	前年のスクラップ廃却率が 56.9%であったのに対し 57.8%となるが、長期保管 在庫を廃棄しているため 一時的な増加と見られる
部品使用量 年 290百万個	百万円	品質活動によるロスの低減	298.39	282.01	94.51%	98.20%	
紙使用量 年 210,000枚	枚数	裏紙使用の推進	206,000	213,500	103.64%	107.68%	算出方法を変更したため、 統計的に今が最適か まだ判らないので、継続する
グリーン購入の推進 グリーン購入 90%		エコマークの確認	グリーン購入88.5%	グリーン購入88.86%			

中小企業等の省エネ・生産性革命投資促進事業補助金

補助金を利用し工場各所の照明をLEDに更新しました

工場	器具	消費電力	個数	置換え器具	消費電力	個数	消費電力差(W)
順送プレス工場	水銀灯	760	2	LED灯	184	2	1152
順送プレス工場	水銀灯	440	3	LED灯	214	3	678
順送プレス工場	蛍光灯	92	4	LED灯	27.3	4	258.8
順送プレス工場	蛍光灯	92	3	LED灯	16.9	3	225.3
単発プレス工場	蛍光灯	92	12	LED灯	19.2	12	873.6
単発プレス工場	水銀灯	440	10	LED灯	188	10	2520
単発プレス工場	蛍光灯	46	8	LED灯	19.2	8	214.4
組立3階	蛍光灯	92	20	LED灯	27.3	20	1294
組立4階	蛍光灯	92	36	LED灯	27.3	36	2329.2
事務所	蛍光灯	93	14	Hf蛍光灯	66	14	378
事務所	Hf蛍光灯	66	14	LED灯	34.6	14	439.6
		2305	126		823.8	126	10362.9



社員・業者による草刈と樹木の伐採

工場遊休地



建物横空き地



駐車場・境界線



公道に面した境界線



遊休地



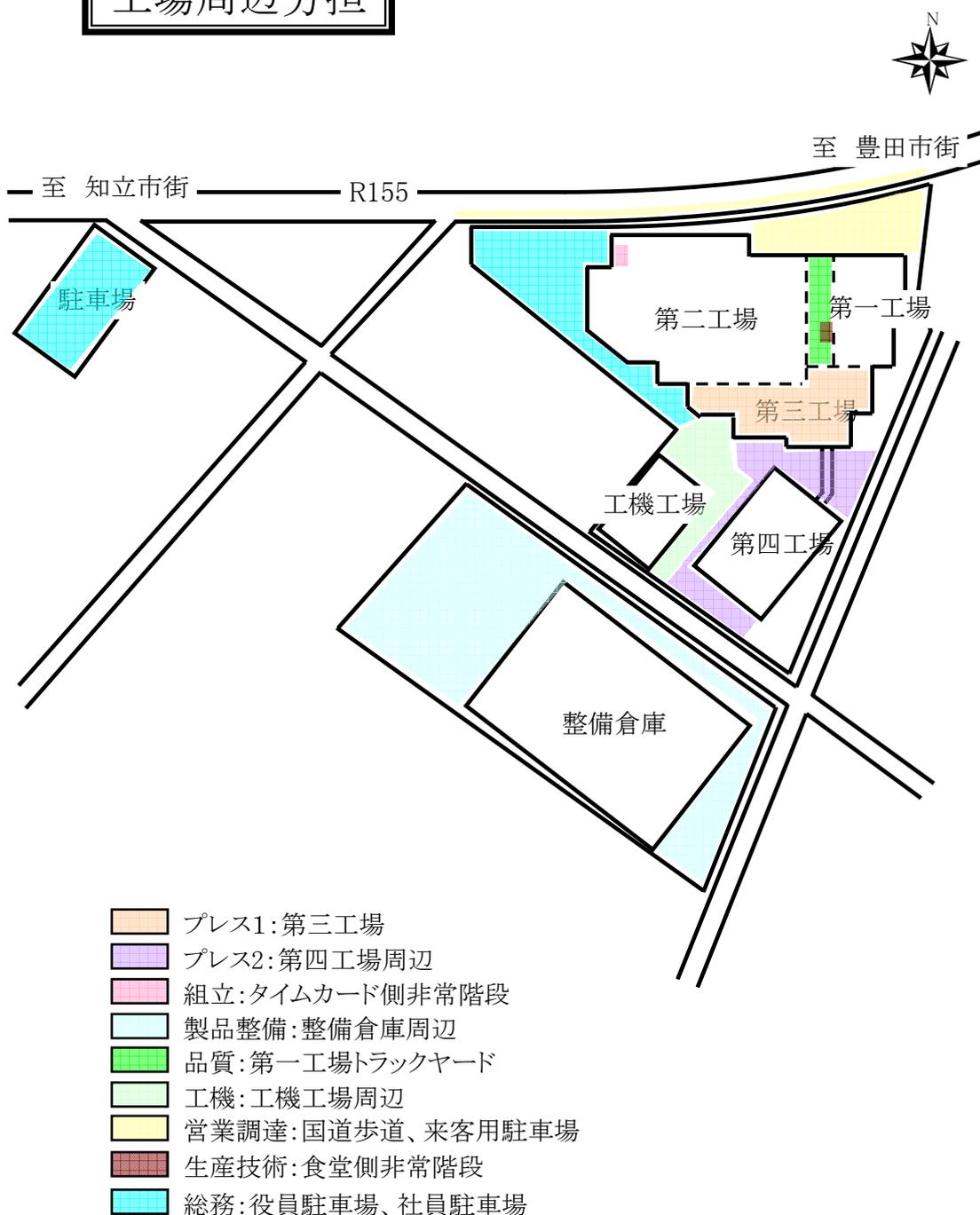
屋外喫煙所



部署ごとに分担しての安全パトロールの実施

各部署内の安全パトロールと共に分担して、周辺のパトロールも実施している

工場周辺分担



7. 評価及び見直しの結果

刈鋌工業株式会社

環境目標とその達成状況

目標達成できた項目については、年度毎の変動があるものも多く、これでよしとは言えないため、継続的に意識した行動がつけられるようにしたい。

目標不達の項目については、多くが頭打ちになっていると感じる。今後は現状維持か更に数値を良くするための投資も行うかを検討する必要があると考えられる。

環境活動計画の実施状況

数値化しやすいもの、状況が見え易いものはよくできている。

意識しないとできないものや、一部の担当者だけにしか状況がわからないものに関して、より全員が状況を見られるようにしていきたい。

環境関連法規の見直し、遵守状況

特に見直しが必要な所はなく、遵守状況も継続している。

外部からの苦情等の受付結果

外部からの苦情はありません

問題点の是正予防報告

活動開始時に手探りで始めた結果、事務局の負担になっている部分の進捗が今一步足りないと思われる。目標や収集指標のスリム化で活動の省力化を図っていきたい。

利害関係者等の環境情報

特になし

2017年 2月 9日

刈鋌工業株式会社

環境管理責任者

取締役 副社長 江原 圭亮

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに、訴訟の有無

当社に適用となる主な環境関連法規

法律名	遵守事項	遵守状況
公害防止組織の整備に関する法	公害防止統括者の選任 公害防止管理者の選任	遵守
騒音・振動規制法	特定施設の届出 規制基準の遵守	遵守
廃棄物処理法	マニフェストの発行・管理 産業廃棄物処理契約 産業廃棄物業者の確認 産業廃棄物の適正保管	遵守
浄化槽法	保守点検・定期点検の管理 浄化槽の保守点検と清掃	遵守
消防法	少量危険物貯蔵取扱の届出 貯蔵及び取扱に関する遵守事項	遵守
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	特定製品の整備・廃棄時のフロン回収・破壊 事業用エアコンの定期的な点検 簡易点検7.5kW未満・定期点検7.5kW以上	遵守
家電リサイクル法	特定家庭用機器再商品化	遵守
県民の生活環境の保全等に関する条例 豊田市環境を守り育てる条例	環境負荷の低減	遵守

環境関連法規の見直し、遵守状況

環境関連法規につきましては現在違反はありません

なお3年以上関係当局より違反等の指摘、訴訟事項等はありません。

外部からの苦情等の受付結果

外部からの苦情はありません

遵守評価日

2017年 2月 9日

遵守評価者名

刈鋌工業株式会社

環境管理責任者

取締役 副社長 江原 圭亮

9. 代表者による全体の評価と見直し

実施日 2017年 2月 27日

刈鉾工業株式会社

見直しに必要な情報			代表者による見直し																					
管理責任者の報告及び改善への提案			変更の必要性の有無・指示事項																					
<p>[取り組み状況の評価結果] 目標達成できた項目については、年度毎の変動があるものも多く、これでよしとは言えないため、継続的に意識した行動がつけられるようにしたい。</p> <p>目標不達の項目については、多くが頭打ちになっていると感じる。今後は現状維持か更に数値を良くするための投資も行うかを検討する必要があると考えられる。</p> <p>数値化しやすいもの、状況が見え易いものはよくできている。</p> <p><改善への提案> 活動開始時に手探りで始めた結果、事務局の負担になっている部分の進捗が今一步足りないと思われる。目標や収集指標のスリム化で活動の省力化を図っていききたい。</p>			<p>[環境方針] 変更の必要性: <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無 目標をできるだけ数値化して改善効果の見える化を図った方が良いと思われます。</p>																					
<p>[目標・環境活動計画の達成状況] (詳細は環境活動計画書による)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標項目</th> <th>状況</th> <th>達成状況の評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CO₂の削減</td> <td>2.2%増</td> <td>現状維持は出来ている</td> </tr> <tr> <td>一般廃棄物</td> <td>増加傾向</td> <td></td> </tr> <tr> <td>産業廃棄物</td> <td>35%減</td> <td>排出時期の関係</td> </tr> <tr> <td>節水</td> <td>26.4%減</td> <td>漏れの確認が出来ている</td> </tr> <tr> <td>化学物質使用量</td> <td>17.3%増</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電力使用量</td> <td>2.6%増</td> <td>現状維持が出来ている</td> </tr> </tbody> </table> <p><改善への提案> 意識しないとできないものや、一部の担当者だけにしか状況がわからないものに関して、より全員が状況を見られるようにしていきたい。</p>			目標項目	状況	達成状況の評価	CO ₂ の削減	2.2%増	現状維持は出来ている	一般廃棄物	増加傾向		産業廃棄物	35%減	排出時期の関係	節水	26.4%減	漏れの確認が出来ている	化学物質使用量	17.3%増		電力使用量	2.6%増	現状維持が出来ている	<p>[目標・活動計画] 変更の必要性: <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無 下記指示事項 状況はほぼ良い方向性にあるが目標値を具体的にした方が良いと思います。%の増減ではなく実際の排出量・使用量を表示したほうが判りやすいのではないのでしょうか。目標の見える化を図って頂きたい。</p>
目標項目	状況	達成状況の評価																						
CO ₂ の削減	2.2%増	現状維持は出来ている																						
一般廃棄物	増加傾向																							
産業廃棄物	35%減	排出時期の関係																						
節水	26.4%減	漏れの確認が出来ている																						
化学物質使用量	17.3%増																							
電力使用量	2.6%増	現状維持が出来ている																						
<p>[周囲の変化の状況] ①外部コミュニケーション記録より ・外部からの苦情はありません ②環境関連法規制等の動向他 ・定期的チェックを実施 <改善への提案> ・維持</p>			<p>[その他] 変更の必要性: <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p>																					
<p>[総括]代表者による指示事項 改善活動が全員活動になって来つつあるが、まだまだ目標達成はできていないので、目標を数値化して効果の見える化を図って下さい。目標は具体的な数値を検討ください。</p>																								

平成29年2月28日

